

パージェタ+ハーセプチン療法

点滴のスケジュール

症状や経過に合わせて
お休み期間は変わります。

外観	お薬名	点滴時間	薬の効果
	パージェタ (成分名：ペルツズマブ)	初回60分 2回目から30分	がん細胞の 増殖を抑えます
	ハーセプチン (成分名：トラスツズマブ)	初回90分 2回目から30分	

1コース 3週間の点滴治療を繰り返します



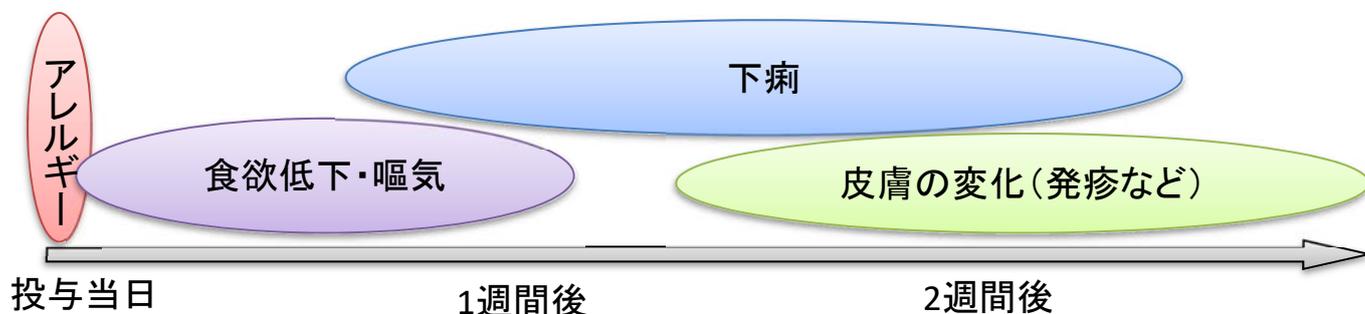
アレルギー様症状について

- 投与時にアレルギー様症状（イフェージョン・リアクション）が起こることがあります。主な症状として、発熱感・悪心・頭痛・寒気・血圧低下などがあります。
- 初回投与時に強くでることがありますが、2回目以降は軽くなる傾向があります。
- 症状がでた場合、点滴速度をゆっくりにするか一時中断することがあります。

点滴中の注意

- 点滴開始後に息苦しさ、顔のほてり、吐き気・気分不快などの症状があらわれた場合は我慢せずに医療スタッフまで申し出てください。
- 点滴部位に強い痛みや腫れ、かゆみを感じた場合は早めに医療スタッフまでお知らせください。

起こりやすい副作用の発現時期と対処



下痢

- 投与後約3～4日ごろから、下痢や水っぽい便が出ることがあります。
- 脱水予防のためスポーツドリンクなど塩分を含んだ飲料水で水分補給を行って下さい。
- 多くの場合、治療を続けていくうちに回数が少なくなってきます。
- 薬で症状を和らげることもできます。症状が現れたら、医師・看護師・薬剤師に相談して下さい。

皮膚の変化

- 抗がん剤投与 約1週間後ごろから、手や足などの皮膚に発疹が現れることがあります。
- 多くの場合、治療を続けていくうちに回数が少なくなってきます。
- 薬で症状を和らげることもできます。症状が現れたら、医師・看護師・薬剤師に相談して下さい。

食欲不振・吐き気

- 抗がん剤を投与した日から1週間後ごろまで、食欲が落ちたり、吐き気が見られることがあります。
- 無理せずに、食べやすいものを食べられる量から摂るようにしましょう。

疲労感

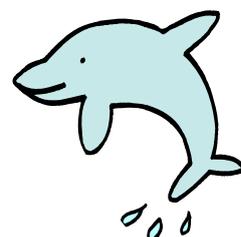
- 「だるい」・「からだが重い」・「疲れやすい」と感じることがあります。
- 疲れたなと思ったときは、無理せず、ちょっと横になるなど、休息をこまめにとるとよいでしょう。

心臓への影響

- ハーセプチン・パージェタは、心臓に対する副作用があります。
- 心臓がドキドキしたり、息苦しくなったり、からだがむくむことがあります。
- こんな症状があらわれたら、連絡してください。
 - ✓ 平らな道を歩いただけでも、心臓がドキドキする。
 - ✓ あおむけでは息が苦しい
(上半身を起こした姿勢にすると楽になる)

間質性肺炎

- まれに間質性肺炎が起こることがあります。
- 息切れや呼吸がしにくかったり、痰の少ない咳が続く場合はご連絡下さい。





このような症状が現れたら、必ずご連絡ください

- 38度以上の発熱があるとき
- 乾いた咳が続く、または息切れを感じる時
- 1日の半分以上を寝てすごすほどのだるさがあるとき
- 1日7回以上の下痢があるとき
- 点滴した部位が赤く腫れてきた、痛みや熱感がある
- 皮膚に発疹やじんましんが出てきた



病院へ電話する前に確認しましょう

- ①診察券番号
- ②おかけの診療科
- ③主治医の名前
- ④抗がん剤治療中であること
- ⑤気になる症状（具体的に）

連絡先

横浜市立大学附属病院

電話：045（787）2800（代表）

《平日8:30～17:00》

おかけの診療科外来を

伝えてください

《平日の夜間および休日》

救急外来と伝えてください

※ここに診察券の内容を写しましょう

□	□	□	—	□	□	□	—	□
---	---	---	---	---	---	---	---	---

お名前

